

2018年度第3四半期決算説明

2018年11月8日

株式会社 クラレ

2018年度3Q実績

	18年度3Q実績	前年同期実績	増減
売上高	4,499億円	3,797億円	703億円(18.5%)
営業利益	572億円	583億円	▲12億円(▲2.0%)
経常利益	548億円	571億円	▲23億円(▲4.0%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	351億円	375億円	▲24億円(▲6.5%)

参考

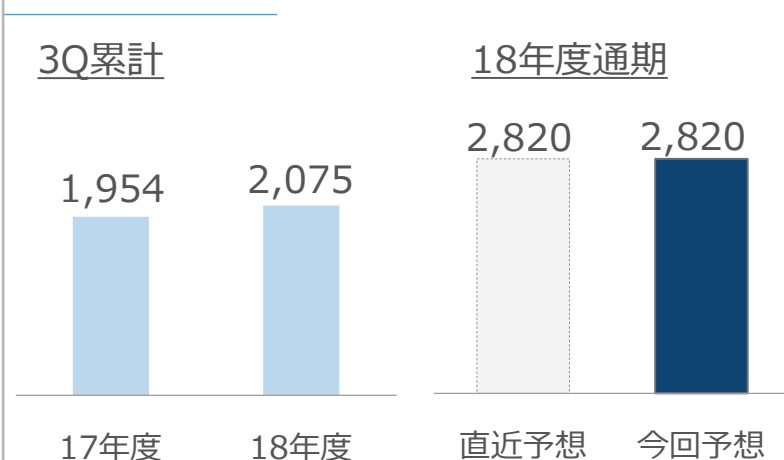
円/ドル	110	112
円/ユーロ	131	125
国産ナフサ価格 (千円/kl)	49	39

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、前年同期の数値は遡及修正しています。

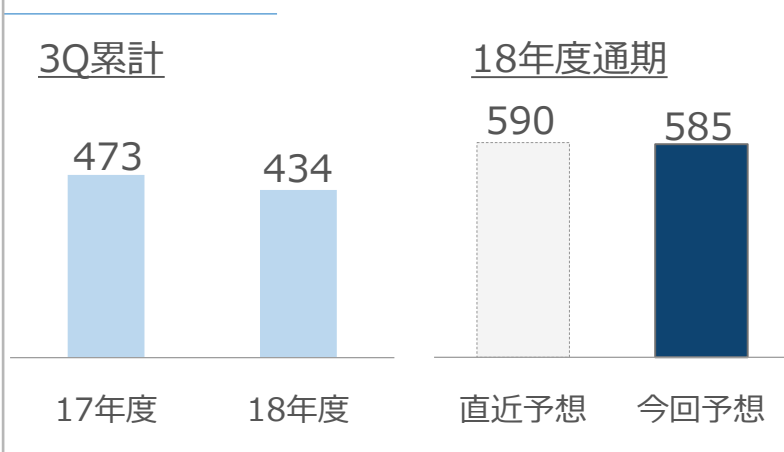
* 18年度3Qの実績にはCalgon Carbon社の業績が含まれています。

ビニルアセテートセグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■ ポバール樹脂

販売構成が良化し、順調に推移。

■ 光学用ポバールフィルム

需要の堅調な伸びにより、販売量が増加。
倉敷事業所での新設備投資（2019年末稼働予定）を決定。

■ 水溶性ポバールフィルム

個包装洗剤用途を中心に数量が拡大。

■ PVBフィルム

販売量が増加したが、原燃料価格上昇の影響を受けた。

■ <エバール>

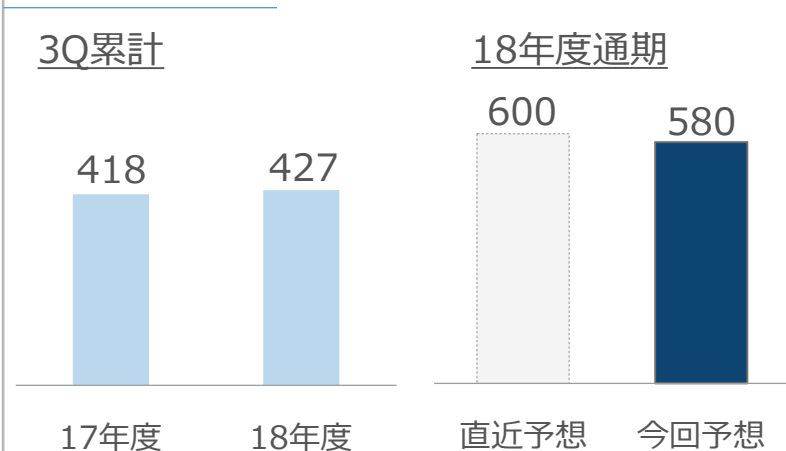
米国工場における定期修理、能力増強工事遅延の影響を受けた。

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し17年度3Qの数値は遡及修正しています。

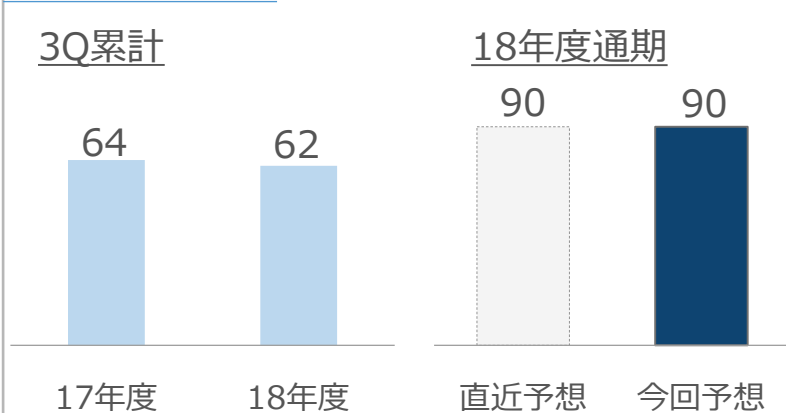
* 有形固定資産の減価償却方法と耐用年数、及び全社共通費の配賦方法の変更により、18年度3Qの営業利益はマイナスの影響を受けました。

イソプレンセグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■ イソプレン

ファインケミカル、〈セプトン〉、液状ゴムのいずれも数量が伸長したが、原燃料価格上昇の影響を受けた。

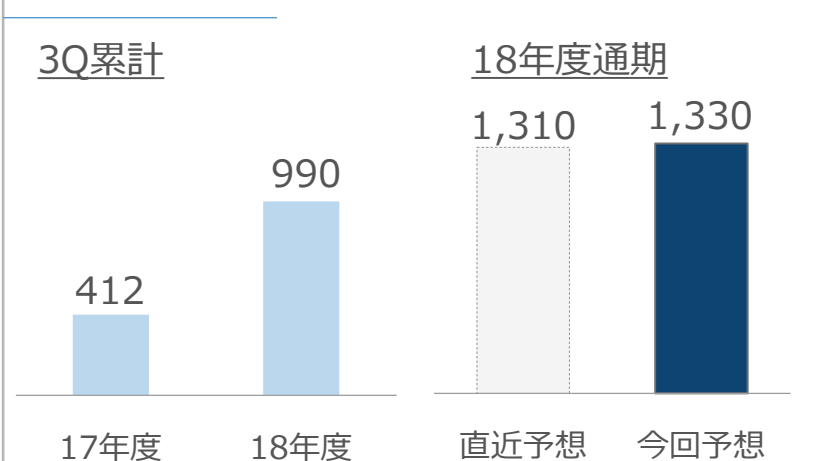
■ 〈ジェネスタ〉

自動車用途、コネクタ用途を中心に販売拡大も、原燃料価格上昇の影響を受けた。

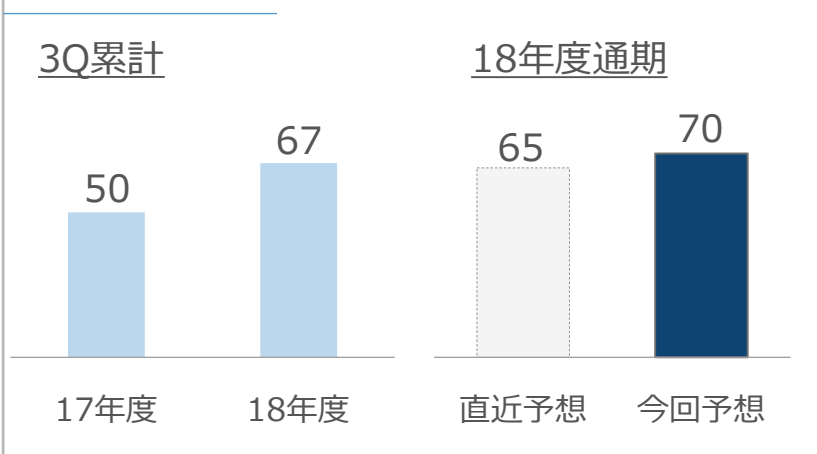
* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し17年度3Qの数値は遡及修正しています。

機能材料セグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■メタクリル

好市況が継続したことに加え、高付加価値品の販売が拡大し順調。

■メディカル

歯科材料で、ジルコニア系製品の拡充が寄与。

■炭素材料

汎用用途の販売量が減少。

■カルゴン・カーボン

米国を中心に販売量が増加。

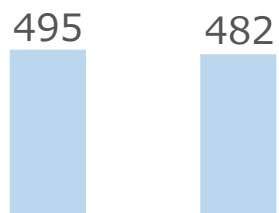
* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し17年度3Qの数値は遡及修正しています。

* 18年度3Qの実績にはCalgon Carbon社の業績が含まれています。

繊維セグメントの概要

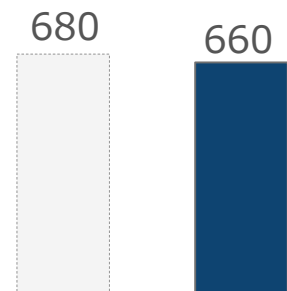
売上高（億円）

3Q累計



17年度 18年度

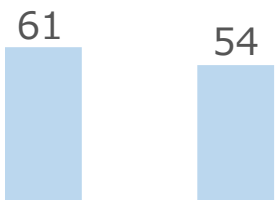
18年度通期



直近予想 今回予想

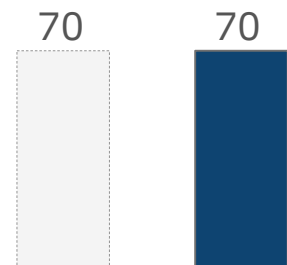
営業利益（億円）

3Q累計



17年度 18年度

18年度通期



直近予想 今回予想

■ <クラリーノ>

スポーツシューズ向け出荷が減少したが、ラグジュアリー商品用途で販売が拡大。

■ 繊維資材

ビニロンで原燃料価格上昇の影響を受けた。

■ 生活資材

<クラフレックス>で高付加価値製品の販売が拡大。

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し17年度3Qの数値は遡及修正しています。

* 18年度1Qからの組織体制変更に伴い、17年度3Qの数値には<クラリーノ>を含めています。

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

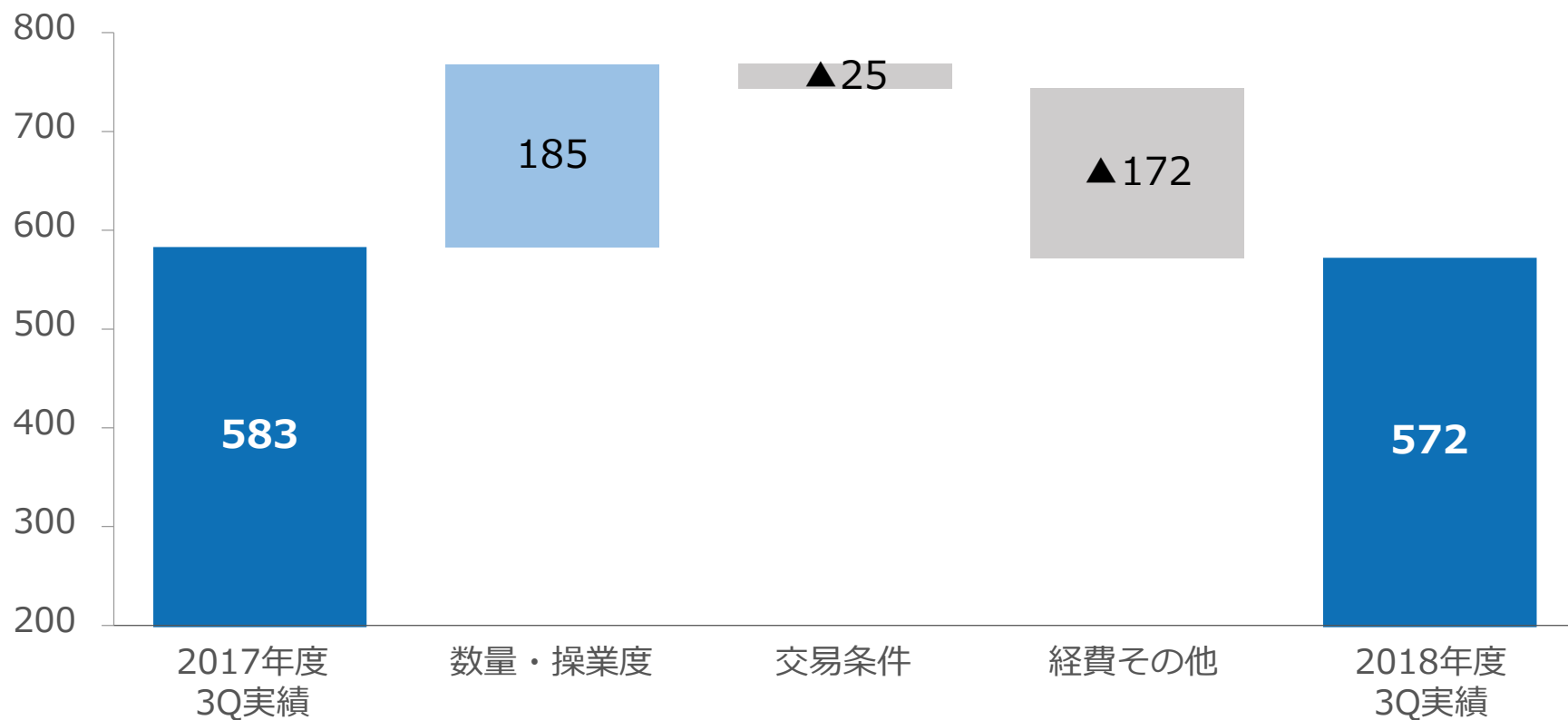
	18年度 3Q実績		前年同期実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	2,075	434	1,954	473	121	▲39
イソプレン	427	62	418	64	9	▲2
機能材料	990	67	412	50	578	17
繊維	482	54	495	61	▲13	▲7
トレーディング	1,020	30	968	29	52	1
その他	428	8	355	17	73	▲9
調整額	▲923	▲82	▲804	▲110	▲119	28
合計	4,499	572	3,797	583	703	▲12

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、前年同期の数値は遡及修正しています。

* 当表ではクラリーノ事業のセグメント区分変更後の18年度3Q実績と17年度組み替え実績を対比しています。

18年度3Q営業利益増減分析

[億円]



	17年3Q実績	18年3Q実績
国産ナフサ/kI	39千円	49千円
ドル (平均)	112円	110円
ユーロ (平均)	125円	131円

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度3Qの数値は遡及修正しています。

貸借対照表①(資産の部)

[億円]

	18年9月末	17年12月末	増減
流動資産	3,992	3,605	387
固定資産	5,591	4,163	1,429
資産合計	9,583	7,767	1,816

＜参考＞ 期末日為替レート

	18.9末	17.12末
円/ドル	114	113
円/ユーロ	132	135

貸借対照表②(負債の部)

[億円]

	18年9月末	17年12月末	増減
流動負債	1,497	1,081	416
固定負債	2,274	1,032	1,242
負債合計	3,771	2,112	1,658
純資産合計	5,812	5,655	157
負債・純資産合計	9,583	7,767	1,816

<参考> 期末日為替レート

	18.9末	17.12末
円/ドル	114	113
円/ユーロ	132	135

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

	2018年度 今回予想		2017年度 実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	2,820	585	2,669	616	151	▲31
イソプレソ	580	90	564	91	16	▲1
機能材料	1,330	70	552	67	778	3
繊維	660	70	664	75	▲4	▲5
トレーディング	1,350	45	1,318	39	32	6
その他	570	20	513	30	57	▲10
調整額	▲1,210	▲110	▲1,095	▲154	▲115	44
合計	6,100	770	5,184	764	916	6

* 当表ではクラリーノ事業のセグメント区分変更後の18年度業績予想と17年度組み替え実績を対比しています。

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度実績の数値は遡及修正しています。

【ご参考】セグメント別売上高予想

[億円]

	2018年度		2017年度		増減	
	3Q実績	通期予想	3Q実績	通期実績	3Q	通期
ビニルアセテート	2,075	2,820	1,954	2,669	121	151
イソプレ	427	580	418	564	9	16
機能材料	990	1,330	412	552	578	778
繊維	482	660	495	664	▲13	▲4
トレーディング	1,020	1,350	968	1,318	52	32
その他	428	570	355	513	73	57
調整額	▲923	▲1,210	▲804	▲1,095	▲119	▲115
合計	4,499	6,100	3,797	5,184	703	916

* 当表ではクラリーノ事業のセグメント区分変更後の18年度業績予想と17年度組み替え実績を対比しています。

【ご参考】セグメント別営業利益予想

[億円]

	2018年度		2017年度		増減	
	3Q実績	通期予想	3Q実績	通期実績	3Q	通期
ビニルアセテート	434	585	473	616	▲39	▲31
イソブレン	62	90	64	91	▲2	▲1
機能材料	67	70	50	67	17	3
繊維	54	70	61	75	▲7	▲5
トレーディング	30	45	29	39	1	6
その他	8	20	17	30	▲9	▲10
調整額	▲82	▲110	▲110	▲154	28	44
合計	572	770	583	764	▲12	6

* 当表ではクラリーノ事業のセグメント区分変更後の18年度業績予想と17年度組み替え実績を対比しています。

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度実績の数値は遡及修正しています。

kuraray

金額表示は億円未満四捨五入にしております。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。